

成長できる生徒

約4か月間に及ぶ第2学期の最終日を迎えました。生徒の皆さんのおかげで、人は4か月間、1学期間あれば、変わることができる、成長できることがわかりました。

今までに、すべての学級におじゃまして、授業を参観させていただきました。どの学級にも共通しているのは、授業の最初の集中度が高いことです。先生の話をよく聞いています。何事も最初が肝心（かんじん）です。

学習課題が提示され、その授業で何をやるのか、どんなことを考えていくのかがわかります。1学期に比べて、学習課題をノートやワークシートに書くスピードが格段（かくだん）に速くなりました。先生が言う学習課題を、何も見ずに書ける生徒も増えてきました。

学習課題に対して、まず個人で自分の考えを書くことがあります。この時間が大切です。書くことは考えることです。たくさん書けるということは、それだけ考えているということです。ワークシートの欄を突破（とっぱ）するくらい書いたほうがよいのです。時間がある限り書いたほうがよいのです。どの学級も、全員の生徒が書いています。だんだんと書く量が増えていくのが理想です。

自分の考えをもとに、グループで互いの考えを発表し合ったり、考えを一つにまとめたりすることがあります。書いたことや考えたことは、人前で発表することが大切です。根拠や理由をもとに、自分の考えを説明できることが重要です。そして、他の人の考えを聞くことで、気づいたり、さらに考えたりすることができます。ここが、学校で学ぶ意義の一つです。

この前、3年生のある学級の授業を参観しました。グループで話し合ったことをホワイトボードに書き込み、それをもとに前に出て代表者が発表していききました。6人の生徒が発表しましたが、どの生徒も大きな声で堂々と発表していました。書いてあることをそのまま読むのではなく、自分の言葉で説明するように発表していました。このような場面がたくさん増えることを望んでいます。

授業の最後には、学習課題に対するまとめを行ったり、振り返りを行ったりしています。短縮授業などで時間が足りなくなることがあり、申し訳なく思っています。振り返りでも、わかったこと、疑問に思ったこと、次の時間にやってみたいことなど、できるだけたくさん書いてください。

振り返りを行うことは、大切なことです。今日は、2学期のことを振り返るには、ちょうどいい日です。振り返ると、自分に自信がもてたり、新たな目標が見つかったりします。

この2学期の皆さんを見てみると、「成長できる生徒」だと感じることもありました。一人一人もそうですが、学級や学年、部活動などの集団としても成長しています。学校の先生は、生徒の皆さんが成長する姿を見るのがうれしいのです。楽しみにしているのです。また、1月10日（火）から、どんどん成長していきましょう。